

No.111

2020(令和2)年
7月1日

発行

浄土真宗本願寺派
和歌山教区日高組

責任者

永原智行



流れに身をあずけて
海へと注ぐ

大河の水の一滴が

私たちの命だ

五木寛之著「大河の一滴」から



内勤め(住職・寺族のみ)でひっそりと降誕会法要が営まれました 志賀 妙願寺

組長就任の挨拶



日高組 組長

永原智行

この度、日高組組長を拝命いたしました教専寺の永原智行です。

今年の年頭から新型コロナウイルスの感染の不安が高まり、学校の休校や諸活動の中止、自粛などが相次ぎ、決して穏やかならない令和二年のスタートとなりました。戦争体験者でない者としては、かつてない安心できない事態のようにも思えます。しかしながら、聞法者の我々は「諸行無常(しよぎようむじょう)、いかなる事も常ではなく、変化し流転する。とどまることはない」と聞かされております。昨日まであったマスクが、今日薬局では見当たらないことになり、職場などでも急な対応が迫られ、思わぬところで、無理がでたのではないかと思います。物事は、ことほどさように、ままならず進むことがあります。

厳しい現実を目の当たりにすることが、他の誰かではなくこの私自身に起こることだと肝に据えて、怪しい情報に踊らされず、より冷静に過すことが肝要かと思えます。伝染病だけではなく、当地では過疎化も急激に進んでおり、課題山積している中で任命で重い責任を感じております。

任期中には親鸞聖人御誕生八五〇年、立教開宗八〇〇年慶讃法要がお勤めなされます。多くのご門徒の皆さまとともにご本山に参拝できるよう計画いたしますので、その節は是非ともご一緒にお参りさせていただきます。

仏法が、厳しい現実社会に生きる私たちのよりどころとなるべく励んでまいります。

ヒダカくん・ひかりちゃんのお話

『御文章』のお話

その14

永原智行

狛すなごり章

まづ当流の安心のおもむきは、あながちにわがところのわろきをも、また妄念妄執のころのおこるをも、とどめよといふにもあらず。ただあきなひをもし、奉公をもせよ、狛・すなごりをもせよ、かかあるあさましき罪業にのみ、朝夕まどひぬるわれらごときのこと、たすけんと誓ひまします弥陀如来の本願にてましますぞとふかく信じて、一心にふたごころなく、弥陀一仏の悲願にすがりて、たすけましますとおもふころの一念の信まことなれば、かならず如来の御たすけにあづかるものなり。

このうへには、なにとこころえて念仏申すべきぞなれば、往生はいまの信力によりて御たすけありつるかたじけなき御恩報謝のために、わがいのちあらんかぎりは、報謝のためとおもひて念仏申すべきなり。これを当流の安心決定したる信心の行者とは申すべきなり。

あなかして、あなかして。

◎ 語句

わろき…劣っていること

妄念…真理に背反した迷いの心

妄執…心の迷いから物事に執着すること

すなごり…漁。魚や貝類をとること

罪業…罪深いおこない

苦の結果を招く原因となるような悪い行為

朝夕…朝から晩まで一日中

いたづらもの…とりえのないもの

本願…法蔵菩薩が因位の時におこした衆生救済の誓いをいう

悲願…大慈悲によって起こされた衆生救済の誓願

本願のこと

すがりて…頼って。すべてをうちまかせて

信力…信心の功德力。信心のすぐれたはたらき

◎ 現代語訳・大意

浄土真宗の信心についていえば、ことさらに自分の悪い心をとどめよとも、また迷いのとらわれの心が起るのを止めよともいうわれではありません。どのようにな仕事をし暮らしたてていようと、そのようにな日暮をして暮らしている取り柄のない私たちを救おうとお誓いになった阿弥陀如来の本願であると深く信じて、一心にみ仏の本願におまかせする信心がまことなら、かならず阿弥陀如来のお救いにあづかることができるのです。

そのうえで、どのように思って念仏するかと言えは浄土に往生するのは信心のはたらきによるものだからその信心をめぐまれたご恩を報じるためと思って、いのちのある限り念仏すべきです。このような人を、浄土真宗の信心を決定した人というのです。

ヒダカくん この文章は真宗の特徴がでていね。

ひかりちゃん ご信心のこと？

ヒダカ もちろんそうだけれども、浄土真宗の信者の姿が伺い知れるよ。

ひかり 真宗を信じた人の様子なの？

ヒダカ 仏教は本来差別を否定するにも関わらず、古代から支配権力と結んできたんだよ。

ひかり 奈良時代の仏教の目的は、東大寺の建立のよめに国家鎮護（こっかちんご）のためよ。

ヒダカ そうなんだ。日本国を統一した力をあらわすためだったんだ。でも、悲田院（ひでんいん）や施薬院（せやくいん）など救済をはかるものもあったよ。

ひかり 時代が進むにつれて、尊卑（そんぴ）・貴賤（きんせん）の考えを持つようになったのね。

ヒダカ 親鸞聖人の時代は、貴族から武士に政権が変わる時代だったし、蓮如上人の時代は百姓が「惣」（そう）室町時代、荘園解体期に現れた村人の共同体的結合）を作って、支配者に対抗する時代だったんだ。

ひかり 悪人ということ？

ヒダカ 親鸞聖人は「れふし（漁師・狛師）、あき人（商人）、さまさまなもの（みな石、瓦、礫（れき）のごとくなるわれらなり）」と屠沽の下類（とこのげら）において、仏の救いを仰いでいるんだよ。

ひかり 屠沽の下類？

ヒダカ 屠は生き物を殺すもの、沽は商人。よろづの煩惱に縛られた煩惱具足の凡夫で、それらを総称して悪人といわれた。また、蓮如さんの頃は悪党というものもいたんだ。

ひかり 悪党？山賊？海賊？

ヒダカ 山賊・海賊は悪い奴だが、悪党は、そういう人のことだけをいうのではないよ。荘園の反領主的な農民のことなんだ。

ひかり 一向一揆の人なんて悪党そのものね。

ヒダカ さらに、蓮如さんの頃は、土地に縛られない商人や運送業者が発達したんだ。こんな人も悪党と呼ばれたんだ。現に比叡山に睨（にら）まれたとき、蓮如さんを助けたのは琵琶湖のほとりのこういいう人たちだったよ。

ひかり 蓮如さんは、こういう人たちに仕事に励めといっているのね。

ヒダカ キリスト教の歴史とよく似てるんだ。神中心のカトリックから、信仰こそ大切だというプロテスタントがあらわれる。彼らは信仰と生業を大切に、信仰と生業を分けた。スペイン人のように征服した土地に神を押しつけた国と、オランダやアメリカのように信仰と商売を別にした国に大別できる。キリスト教を禁止した江戸幕府でも、オランダと貿易したのはこのためだったんだ。真宗とこのスタイルがよく似ているというんだよ。

ひかり 商売に励めと言われたから、その後近江商人や大坂の商人が活躍するのね。

ヒダカ 古くからある有名企業の創設者の出身者に関西出身が多く、真宗門徒が多いんだ。

「諸（もろ）もつ」かってまっか、おかげさんで、おぼちでんな」の「おかげさん」は阿弥陀さんのおかげなんだよ。

ひかり 信仰・信心が大切で、一心に二心なく本願にすがるとね。

ヒダカ そうだよ。真宗の信心はその日の日暮しの中にあるんだ、近江商人や富山の薬売りの人たちは旅に出て、「南無阿弥陀仏」と書かれたご本尊をかかげ、正信偈を唱えて、その日を感謝していったんだらうね。

ひかり 「おかげさんで」か、いい言葉ね。

シリーズ 「過疎問題を考える」

妙願寺 楠原晃紹

新型コロナウイルス感染症防止の影響で、寺院のあらゆる法要、行事、活動などが相次いで中止されています。

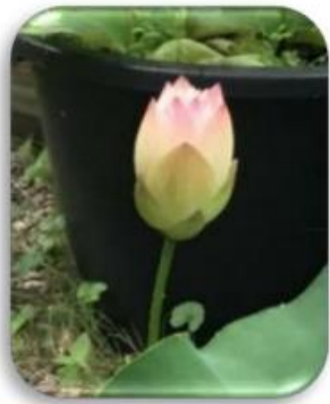
今後の各寺院の法座活動は、感染予防という点について、一定のガイドラインのもとで再開する必要があるかと思えます。境内地も活用する、換気、手指消毒、一定の距離を保つなど、寺院ごとの創意工夫がなされなければなりません。

法座活動などの再開にあたって懸念すべきことがあります。法座活動の規模を縮小したり、簡略化することによってこれまで行ってきた伝統文化が消えてしまうことではないでしょうか。例えば法要後のお斎(おとき)が省略される、参拝者の人数制限により積極的な参拝者が減少する、家族葬が主流となる等々が考えられます。

実際、葬儀や年回忌法要において、遠方からの親類を呼べず、家族のみでお勤めすることが増えてきていますし、葬儀をせずに火葬のみを行った遺族もおられます。一度中止にすると、もう儀式はしなくてもよいという風潮が一層強まっていくことが危惧されるのです。

全国的にこのような略式の儀式が増え続けるとなると、ただでさえ困窮している過疎地の寺院が悲鳴を上げるのは当然です。

コロナ終息後、「新しい生活様式」と称する日常生活とともに、私たち寺院関係者は今までのような法要儀式的ありかたを見直すことも必要ですし、大きく変えなければならぬのかもしれない。しかしながら今までの伝統文化のともなひが安易に消えてなくなってしまうのではないかと思います。



門徒心得

「石山本願寺と戦国乱世」

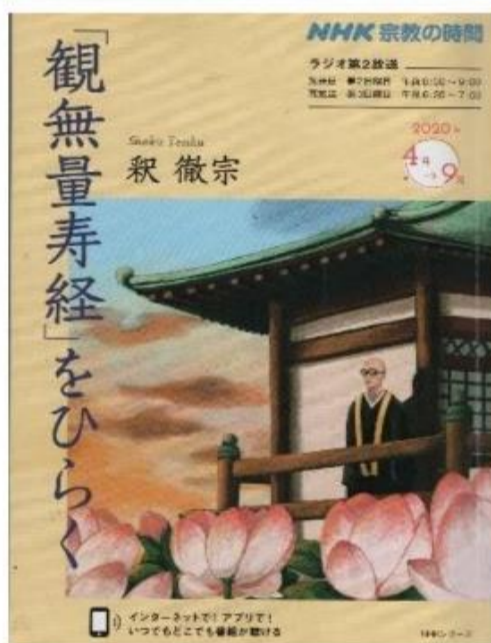
織田信長(1534-1582)は戦国時代から安土桃山時代にかけての武将、戦国大名、天下人であることはどなたもご存じのことかと。

信長がまだこの世に現れていない明応5年(1496)、本願寺8代蓮如上人のとき大坂の石山に御坊が立てられました。

元亀元年(1570)からの10年間は、信長と本願寺の間で抗争が続きました。(石山合戦)しかし天正8年(1580)に11代蓮如上人が石山を明け渡し、その直後に焼亡しました。信長が天下統一する上で最大の難敵だったのが本願寺でした。

本願寺が信長と争ったのは政治権力を握ろうとしたわけではありません。あくまでも念仏の教えを人々に広め、民衆を救うのが目的だったのです。ただ時の権力者信長にしてみれば、本願寺の宗教的価値観は自分の権力の意に反するものでした。なんとしても本願寺の勢力を削ぎたかったでしょう。各地で起こった一向一揆と呼ばれる民衆の反乱に対する弾圧も激しくなり、結果多くの犠牲者が出てしまいました。

また、本願寺が退居した跡地に豊臣秀吉が建てたのが大坂城です。(北山)



2014年の第20回真宗法座ご講師 釈徹宗師は、NHKのラジオ第2放送で、2020年4月から9月の第2日曜日 午前8時30分から30分、再放送第3日曜日 午後6時30分、『観無量寿経』をひらくが放送されています。テキストは、NHK出版920円+税で発売されています。

Q、信長の時代、本願寺は現在のどの府県にあったでしょうか？

次の①～③の中から一つ選んで番号を書いてください。

- ① 滋賀
- ② 京都
- ③ 大阪

110号の正解は「③ 亡き人を縁に仏の教えを聞く」でした。[解説] 法事を勤める目的は私自身が仏さまの教えに触れ、仏さまの救いに預かることにあるのです。仏となった亡き人の願いを聞いて、この私が仏さまの教えに会い、心豊かな人生を歩んでいくのが法事を営む趣旨です。

正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

- | | |
|------------|------------|
| 日高町 川端 明子様 | 由良町 小谷かおり様 |
| 由良町 宮本みさほ様 | 由良町 中崎エミコ様 |
| 由良町 浜出 睦夫様 | 由良町 井口きよみ様 |
| 由良町 畑中 靖子様 | 由良町 羽山美恵子様 |
| 由良町 松下 光男様 | 由良町 濱崎香代子様 |



ホームページ、またはハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、紙面についてのご感想、ご意見等を明記の上、下記までお送り下さい。

〒649-1113
和歌山県日高郡由良町阿戸244
教専寺内 日高組事務所 宛

☆抽選で10名の方に『粗品』を進呈します。

締切 2020年9月20日(必着)
発表は次号です

日高組通信

☆行事報告

◎日高組実践運動委員会

3月7日午後2時から阿戸教専寺にて日高組御同朋の社会をめざす運動(実践運動)委員会が開催され、第3期実践運動推進計画の検証評価、第4期実践運動推進計画の策定が行われました。

◎令和元年度日高組定期組合

組役員物故者追悼法要

3月28日午後2時から志賀即生寺にて定期組合が開催されました。僧侶・門徒組会議員により、令和元年度事業経過報告、決算並びに令和2年度事業計画、予算案が審議され、全ての議案が承認、可決されました。また、組長・教区会議員任期満了に伴う選挙が行われ、新組長に永原智行さん(教専寺住職)が就任、僧侶教区会議員に片桐浄映さん(円行寺住職)が、門徒教区会議員に山名 実さん(念興寺門徒総代)が就任されました。なお、組会に先立ち、組役員物故者追悼法要が勤まりました。

◎れんげん(門徒推進員養成連続研修会)

今年度のれんげんは全て中止し、次年度4月から再開します。

◎門徒総代会総会・仏教婦人会総会

4月25日に予定していた門徒総代会総会、並びに4月29日に予定していた仏教婦人会総会・会員物故者追悼法要は中止となりました。

◎第1回組内会

組内僧侶による組内会が6月13日に大引の浄明寺で開催され、今年度の行事計画について協議しました。今年度新たに開催予定であった実践運動推進のつどい(門信徒総研修会)は延期となりました。

なお、今年度上半期の実践運動諸事業は日高組として全て中止する旨が承認されました。また、毎年恒例のキッズサンガは今年度中止となりました。

☆行事予定

◎日高組

組内会での決定事項通り、上半期の諸事業を全て中止いたします。また、諸事業の再開時期については組執行部の判断で、一定のガイドラインに沿った形で開催していただくこととなります。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

☆お知らせ

○このたびは住職在職30年表彰に、日高町志賀の妙願寺楠原晃紹師が受賞されました。

○衣奈西教寺住職の藤田孝雄師が6月12日に往生されました。生前のご苦勞を偲び、謹んで敬弔の意を表します。

日高組新役員が決まる

執行部

【組長】永原 智行(教専寺) 新任
【副組長】楠原 晃紹(妙願寺) 再任
藤田 眞雄(西教寺) 新任

教区会議員

僧侶 片桐 浄映(円行寺)
門徒 山名 実(念興寺)

日高組実践運動委員会

【門徒総代会】

部長 藤本 使朗(即生寺)
副部长 鈴木 悟峰(善宗寺)
丸山 妙子(一行寺)

会 長 田端三津雄(宝国寺)

【仏教婦人会】

部長 荻野 益次(浄明寺)
副部长 松本 秀法(信行寺)
会 長 田原 寛子(長覚寺)

【仏教壮年会】

部長 岩崎 法明(蓮専寺)
副部长 湯川 千秋(円明寺)
会 長 工徳 一夫(念興寺)

【寺族女性会】

会 長 永原 素子(教専寺)

【僧侶研修部】

部長 北山 憲昭(光専寺)
副部长 林 英雄(宝国寺)
上西 偕行(念興寺)

【青少年部】

部長 埜崎 教信(覚性寺)
副部长 亀井 真竜(長覚寺)

【広報部】

部長 鈴木 章吾(善宗寺)
副部长 菅原 吉人(専福寺)

【門徒推進員】

川崎 英直(即生寺)

【日高組重点プロジェクト】

リーダー 楠原 晃紹
サブリーダー 藤田 眞雄

読者の声

※日頃、忙しく生活する中で「ひかり」は生活のひかりとなって私の心に灯をともしてくれます。ゆっくりと読ませていただくことで安心感がうまれます。

※ひかりを拝読させてもらって一つ一つ勉強になります。

※いつも「ひかり」読ませていただいています。ありがとうございます。彼岸も無事に済み、今年もお参りできたことに感謝です。あとはコロナの終息を願うばかりです。

※稚児行列の写真を見、幼き頃自分も『昔も昔三千年 花咲き匂う春八日』と唄いながら他所のお寺さんまで歩いたことを思い出します。

※いつもありがとうございます。報恩感謝の心でお互いに尊重し合って生きたいものです。

※いつも「ひかり」を楽しみにしています。今回のご恩のとおりに自分を見つめなおす。おかげさまでと思い、日々を暮らせたらと幸せに思います。

※「ひかり」を読んで、正解に結びつくところがいいですね。

編集後記

ひかり百十一号は日高組諸行事が全て中止となったため、紙面を4面に縮小して発行させていただきました。次号は平常通り発行できることを念じております。

(編集委員会)

役員改選により、日高組事務所は令和2年4月より教専寺由良町阿戸244に変更されました。